

裸婦デッサンを終えて

北支部理事 波澄 忠行

美術連盟恒例の裸婦デッサン会は7月19日、20日と石神コミセンの多目的ホールで行われました。天候不順の最中であつたが、当日は暑くもなく寒くもない非常に恵まれた2日間を過ごすことができました。

しかし、心配な事は参加者がどのくらい集まってくれるかということでした。開催すると予想より多くの方たちに参加していただき安心をいたしました。

初日の参加は会員が33名、非会員4名とホールの中は隙間のないほどの参加者で、心配は安堵と変わりました。

初日の前半は腕ならしで、午後は固定ポーズでスタートです。モデルさんは横浜育ちの美人で長内裕美さんでした。モデル業が主ではなく何か変化のある体操をしているとの話で、均整のとれた方でした。

さて会員の皆様はと・・・一枚のデッサン用紙、又はカンパスに最後まで取り組んでいる方。あるいは沢山の位置から何枚も描かなければ損をするとはかりか、あちこちと場所を移動している方。とにかく皆さん一生懸命な2日間でしたので、かなり今後の作品作りに勉強になったことと思われまふ。期待しております。無事終了の2日間、お疲れ様でした。



残すは あと1時間

熱心な意見交換の場に

会員の皆様、残暑お見舞い申し上げます。

「合評会・研究会」を連盟の行事として8月に設けて、今年で3年目を迎えました。折から東海祭りのお囃子太鼓の響く夏真っ盛りの時期でしたが(荒天のため、お祭りは結局中止)今回は6名の方の参加がありました。準備しました中央公民館の大会議室は、少しガランとして淋しい感じでした。

参加された方は皆さん熱心で、11点の作品を持ち寄り、それぞれの思惑や迷い等に対して意見を交換いたしました。自分が良いと思っていたことが、皆さんの意見を聞くことで自分でも思わぬ発見がありますし、また、そういう意見もあるのかと今後の勉強になることもあると思います。

意見のすべてをとり入れることにこだわる事もなく、あくまでも助言として聞き入れるところは聞き

入れ、この合評会の場が作品を仕上げるに当たってのきっかけになればと思います。

これからも8月の行事として継続していければと思います。作品を持ち寄らなくても是非参加していただき、多くの意見の交換の場になればと思います。

(事務局)



仕上げが楽しみ!!



やまめ会さんに Tea タイム



気軽に描き、食べ、飲みながら人生を楽しんでいるグループを紹介いたします。今回は「やまめ会」の方から、ある日の様子を・・・。

「お客さん空港行きのバスが出ますよ。」「いや、私達宇都宮行きです。」の挨拶で始まり高速バス前列4席を占領。終始おしゃべりして勝田から宇都宮へ。

出迎えの車で予約のベジタブルランチを完食し、宇都宮名物のドシャブリの中、奥日光へ。いろは坂は雨もやみスイスイ。湯の湖を一周散策する。歩道のフワフワ感は最高。木々の間から男体山がチラホラ。小学生の「コンニチワ」のあいさつに元気ももらい若さももらう。女将の笑顔ヨシ! 食事ヨシ! 温泉ヨシ!

貸し切り野天風呂も、愛らしく咲いた色とりどりのクリンソウを眺めながら、イイ湯だな!!の連発。次の日は戦場ヶ原ハイキングの起点でもある赤沼から、低公害バスに乗って目的のクリンソウが群生する千手ヶ浜に、自称画家五人。大勢のカメラマンと腕を競う。クリンソウの開花時なので観光客も多い。

細道を通る人に時々身を縮ませながらのスケッチ。のぞき込み「良い趣味」といわれ、自称画家へこむ。約1時間緑とクリンソウに格闘し目的達成。

スケッチの終わりを待ってたかのように豪雨。それでも宇都宮では名物餃子を食べ、土産用の冷凍餃子も仕込み、梅雨の合間の貴重なスケッチ旅行の2日間でした。



これが、本日のスケッチの成果です。

公募展だより 入選おめでとうございます。

水戸市展芸術祭 6.15~6.27(水戸芸術館)



「私のコンポジション」 神永マサ子



「雪の朝」(逆川緑地) 佐藤 政一



「支える」 木村 隆

★新会員紹介

ばんば まさお
番場 正男さん (北支部)

確か、今から7年くらい前に「絵が描けたらいいなー」くらいの気持ちで通信教育での手習いをはじめました。その後、ステーション

ギャラリーでの絵画教室の受講を継続して現在に至っております。

今回の入会を機会に、先輩諸氏の情熱を学び、そのアドバイスでさらに「絵画の心」に目覚めたいと願っております。どうぞよろしくお願いたします。



Information

| | | |
|------------------|---------------|---------------------|
| 21世紀新美会メンバーズ展 | 9月3日~9月8日 | 県文化センター【仲田他】 |
| 日立市展 | 9月6日~9月14日 | 日立シビックセンター・マールホール |
| 第86回新構造展 | 9月18日~9月24日 | 東京都美術館【高橋・門前他】 |
| アートロード研修会 | 10月4日 | 大宮鉄道博物館・川越 |
| 第23回絵画同好会展 | 10月12日~10月18日 | 東海ステーションギャラリーA【阿部他】 |
| 美術連盟一泊スケッチ(塩原溪谷) | 10月26日・27日 | 連盟会員 申し込み締切9月16日まで |
| 第17回創造茨城支部展 | 10月26日~11月1日 | 東海ステーションギャラリーA【波澄他】 |
| 東海村文化祭 | 11月1日~11月3日 | 総合体育館他 |

姉妹都市交流会館装飾依頼を受けて

理事長 高橋 忠治

去る7月31日、姉妹都市アイダホホールズ市より中学生高校生18名が交流のため来村しました。

その1ヶ月前に町づくり推進課より村長名で、美術連盟に歓迎のための姉妹都市交流会館の装飾を依頼されました。

役員の皆様と相談の結果、一つは日本とアメリカの国旗、アイダホホールズの市旗、東海村の村旗、及び日本伝統の武道や外国人の好きな食べ物などを手描きして、交流のシンボルになるような旗を作成しました。もう一つはユニークな絵画でご存じの高野さんに依頼し、巾1m長さ2.2mの“Well come tokai.”のポスターを制作してもらいました。

その後、交流会館に行きましたところ、村長始め、町づくり推進課、交流会館担当の田中様より、予想

していた内容より意義深い出来映えで、歓迎ムードが盛り上がりましたと深く感謝されました。

これからも、このような機会があらうかと思いますが、皆様のご指導とご協力をお願い申し上げます。ありがとうございました。



旗の飾りつけが終わり、ゲストを待つばかり



暑いさなかの熱い情熱を感じる『夏休み子ども作品教室』



副理事長 棚井 哲雄

日本列島が猛暑日の続く8月2日(土)、「夏休み子ども作品教室」(文化協会主催)に、美術連盟は、その講師として参加いたしました。

この教室は毎年人気で、今年も80名(3名キャンセル)の小学生が参加して開催されました。大半の子どもはすでに何を描くか決めています。

真っ白の画用紙に生き生きとして描いている子ども達を見ていると感動を覚えます。中にはまったく考えないで参加してくる子どももいます。しかし周りの友達に刺激され、描くきっかけをアドバイスしますと、嬉しそうに画用紙に向かいます。こんな姿はおそらく家ではなかなか出てこない《やる気》を感じます。そして皆時間いっぱい、休みなく頑張っています。

指導するむずかしさ、ましてや子ども相手では確かに我々も大変であります。ある意味ではそれも

我々の勉強です。

最後になりましたが、おいそがしいところ、事務局の依頼で講師を引き受けて頂いた15名の方には本当に感謝いたします。大変お疲れ様でした。さあ我々も子ども達に負けず頑張りましょう。



大きなヒマワリが描けたねー。

